

報 道 資 料

発 表 日 : 令和3年10月30日
問 合 せ 先 : 食と農の振興部畜産課
朝倉、倉田
0742-27-7448 (内線3885)

県内の養鶏農場における高病原性鳥インフルエンザの検査結果について

10月29日、県内（宇陀市）の養鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザを疑う事例が発生し、県家畜保健衛生所及び農研機構動物衛生研究部門で検査を行ったところ、10月30日、陰性と判定されましたので、お知らせ致します。

1 養鶏農場の概要

所在地：宇陀市

飼養羽数：約 1. 4 万羽（肉用鶏）

2 経緯

1. 令和3年10月29日（金）12時30分

農場から県家畜保健衛生所に「死亡羽数増加（30羽死亡／1,900羽）」との連絡。

2. 令和3年10月30日（土）19時00分

農研機構動物衛生研究部門のPCR検査の結果、陰性と判定。

3 報道機関へのお願い

- 1) これまで家きん肉及び家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- 2) 農場への取材は、本病を含む家畜伝染病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むようご協力をお願いいたします。特にヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- 3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、ご協力をお願いいたします。